

神が定められた情報源を用いる。

以前のレッスンで紹介したアードリは、「ほんとうに愛にあふれた神がいるのなら、なぜ人々が苦しむのを許すの」と質問しました。神が定められた情報源から真理を見つける練習として、数分時間を取って、以下の活動のうち少なくとも二つを行ってください：学んだことを学習帳に記録してください。

1. 親と教会の指導者：アードリの質問を親か教会の指導者に送ります。そして、今セミナーでこの質問について話し合っていることを説明して、どう思うかを教えてもらいます。
2. 祈り：個人で静かに祈る際に、この質問への主の導きと聖霊からの靈感を求めます。そして、もたらされた考えや気持ちを書き留めます。
3. 聖文：アードリに役立ちそうな聖文を探します。例えば、モルモン書のアルマの民が体の自由を奪われて苦しみを経験したことを読むとよいでしょう（モーサヤ23：21-23；24：8-15参照）。
4. 主の預言者たち：アードリの助けになりそうな預言者の言葉を探します。例えば、十二使徒定員会のジョセフ・B・ワースリン長老（1917-2008年）の、次の言葉を読んでください：



「落胆、苦悩、悲しみの時期を堪え忍ぶことは、人生で経験する実地訓練の一部です。それらは当座は堪え難いものですが、そのような経験こそ、まさにわたしたちの理解力を広げ、人格を築き、人に対する思いやりを増してくれるのです

イエス・キリストは大いに苦しまれたので、人の苦痛と悲しみを理解しておられます。わたしたちも試練を受けることによって、さらに人を思いやり、理解できるようになります。」（ジョセフ・B・ワースリン「どんな出来事も愛しなさい」『リアホナ』2008年11月号、27）

- これらの情報源から学んだことで、アードリと分かち合いたいことは何ですか。

- 難しい質問に対する答えの探し方が変わるようなことを学びましたか。それは何ですか。